

# 富士市立中央病院 病院だより

## 第 3 号

発行:平成21年1月20日

〒417-8567 富士市高島町50  
電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077  
E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp  
http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

## 糖尿病予防キャンペーンを実施しました

昨年11月15日(土)にイオン富士南ショッピングセンター内で、糖尿病予防キャンペーンを行いました。これは11月14日の世界糖尿病デーにあわせたイベントで、糖尿病の予防に関心を持っていただくことが目的です。実際に血糖値や血圧を測定し、検査結果から糖尿病の予防法や食事上の注意点などアドバイスさせていただきました。病院からは院長を含めた医師、看護師、検査技師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士などがブースに並び、多くのお客様に立ち寄っていただきました。



糖尿病は痛みなどの自覚症状が少ないので、治療を受けていない方が多くいると考えられており、約2,210万人の日本人が糖尿病及びその予備軍(H19国民健康・栄養調査 厚労省実施)とされています。症状として、喉の渇き、尿量の増加、強い疲労感、体重の減少などが知られていますが、こうした症状はかなり進行しないと現れません。糖尿病の怖い所は気付かないうちに悪化して、全身の血管や神経が障害を受け深刻な合併症を引き起こすことです。

健康診断で血糖値が高いとわかったときは、医療機関に受診することをお勧めします。



## 富士市立中央病院の理念

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやすく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

## 富士市立中央病院職員宣言

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

# 各科紹介

## 小児科

当科は、昭和24年の町立富士中央病院（当院の前身）の開設当初より標榜しており、当院の診療科で最も古くからある科の1つです。

現在は5名の医師で、小児患児の診療にあたっています。地域の二次救急医療機関ということもあり、院内には、常に最低1名の医師が待機しております。

業務は、外来患児、入院患児の診察、治療が中心で、主な疾患は呼吸器、消化器、感染症などです。患児の診察、治療以外に、三種混合・MRワクチン・HBワクチンなどの予防接種外来や乳児検診などの健診業務も行っております。

また、先ほども触れましたが、地域の二次救急医療機関として、救急医療センターや開業医で対応できない患者の受け入れも24時間体制で行っております。時には、当院で対応できないような高度な検

査、治療、マンパワーを要する場合もあり、県立こども病院や順天堂静岡病院などの三次救急病院に受け入れをお願いすることもあります。

今後も富士地域の小児医療維持に努めてまいります。



## 今 取り組んでいること

### 東海地震などの災害時に備えて ～トリアージとは？～

近年、日本全国至るところで地震が発生しており、富士市を含む東海地方も、いつ発生してもおかしくない状況であると言われております。

当院は、市内で唯一の災害拠点病院の指定を受けており、災害時には、救護所に対応できない傷病者を受け入れることになっております。

災害の備えとして様々な訓練を行っております。中でもトリアージは阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件など契機に関心が高まり、多くの病院が訓練に取り入れるようになりました。当院でも平成15年度以降、毎年行っております。

トリアージとは、選別するという意味のフランス語で大きな事故や災害時に医療機能が制約される中で、緊急度や重症度によって傷病者を分類し治療の

優先順位を決めることです。このトリアージを正確かつ迅速に行うことが緊急時の救命処置に重要であると言われております。

今後も、いつ災害が起きても対応できるよう、トリアージを始めとする訓練を行い、万一の事態に備えていきたいと思っております。





# 富士市立中央病院診療目程表

2009年1月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備 考
内科 (代謝一般内科)《藤井常宏》  (呼吸器内科)《木村哲夫》 (消化器内科) (腎臓内科)《笠井健司》	初診	宮下	山城	鈴木	宇田川	町島	市田医師の診療は、第1と第3週の午後のみです。
		藤井	藤井	谷口	藤井	谷口	
		谷口	鈴木	山田	谷口	山城	
		木村	木村	木村	木村		
			馬場	(市田)			
神経内科《森田昌代》		森田		村上	森田	森田	《火曜日は休診日です。》
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》  (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	荒瀬			阪本	鯨岡	金曜日の鯨岡医師の診療は奇数週です。 金曜日の小菅医師の診療は偶数週です。
		阪本	三川	三川	三川	三川	
					荒瀬	阪本	
						小菅	
小児科《千葉博胤》		千葉	千葉	千葉	千葉	千葉	
		瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	瀬川	
		秋山	秋山	秋山	秋山	秋山	
外科《梶本徹也》		梶本	吉田	梶本	吉田	良元	
		大町	良元	大町	藤田	毛利	
		小山	藤田	毛利	小山	小山	
整形外科《永井素大》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみ。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
		荒川	久富	(交替制)	久富	荒川	
			石塚	(交替制)	石塚		
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	《水曜日は初診のみです。》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみ。
			秋山		森		
形成外科《平川正彦》		平川	荘司	(交替制)	荘司	平川	《水曜日は初診のみです。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
						渡辺	
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》		窪田	国東	黒田	窪田	拝野	←婦人科再診
		国東	拝野	窪田	拝野	黒田	←妊婦検診
眼科《讓原大輔》		讓原	讓原	讓原	讓原	讓原	
		藤谷	藤谷	藤谷		藤谷	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		須田	高柳	(交替制)	高柳	(交替制)	金曜日は手術日です。
		小林	(交替制)	須田	小林		
皮膚科《津嶋友央》		津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	津嶋	水曜日の津嶋医師は、第1、第3、第5週です。 水曜日の青島医師は、第2、第4週です。
		青島	青島	青島	青島	青島	
麻酔科《堀口 徹》		堀口			堀口		
放射線科		福田			砂川		←治療外来
		大平	大平	(交替制)	萬	成田	←診断
歯科口腔外科 《勝山直彦》	初診	勝山	(交替制)	井出	勝山	井出	片桐医師の診察は、火曜日は第2、第4週、木曜日は第1、第3週です。
		井出	(片桐)	勝山	井出	勝山	
					(片桐)		

※都合により、内容が変更になることがあります。

## 風邪を引かないようにするためには…

年も明けて冬本番、寒い日が続きます。冬は空気も乾燥しやすく、風邪を引きやすい季節でもあります。風邪を引いてしまった時は、医療機関への受診、市販の薬を飲むなど、様々な対処法はありますが、風邪を引かない事に勝るものはありません。院内の感染予防として職員は、まめに手洗いを行うよう心がけております。職員の

みならず、お見舞いに来た方にも病室への入室の際には、手洗いをお願いしています。今回は、手洗い、うがいを始めとして、少しでも多くの方が、病院に掛からないで健康であってほしいとの思いにより、風邪予防について特集を組みました。

### ① 栄養のあるもの（ビタミンA、ビタミンCなど）をしっかりと食べましょう！

一日三食食べることを心がけましょう。特にたんぱく質食品（魚、肉、卵、大豆製品など）、緑黄色野菜（にんじん、かぼちゃ、ほうれん草など）、ビタミンC（みかん、いちご、だいこん、さつまいもなど）を積極的にとりましょう。



### ② 体力を維持し、免疫力を維持しましょう！

体力が低下してくると当然免疫力も落ち、風邪にかかりやすくなります。適度な運動と睡眠時間を十分とるよう心がけましょう。



### ③ 部屋の湿度にも注意しましょう！

冬は、空気が乾燥する時期でもあります。乾燥時は、ウイルスの活動が活発になり、インフルエンザなどが猛威を振るい、新聞紙上を賑わします。適度な水分を採り、粘膜に十分な潤いを与えることが重要です。湿度が大体

50%～70%になるよう心がけてください。加湿器を使用することが理想ですが、それが無い時は、濡れたタオルや洗濯物をつるすなど工夫してみてください。

### ④ 手洗い、うがいをまめにいきましょう！

#### ● 手洗いの方法

1. 手を水で濡らし石鹸を泡立てます。
2. 手の甲、手のひら、指の間、指の付け根を丁寧に洗います。
3. 爪の隙間も注意して洗います。爪などは、洗にくいので、爪ブラシ（なければ歯ブラシなど）を使って洗うと効果的です。
4. 1～3での作業で手に付いた菌を洗い流すため、10秒程度もみ洗いをします。
5. 最後に、水で流し、清潔なタオルで手を拭き乾かします。



（病室への入室で手洗いを行う看護師の様子）

#### ● うがいの方法

1. 水、うがい薬で薄めたもの、お茶などをコップに20ミリリットル程度とります。
2. 食べ物の残りなどを取り除くため、口に含んで強くうがいをします。
3. 上を向いて、喉の奥まで液が回るように15秒程度うがいをします。（数回繰り返す）



### ⑤ 人混みはできるだけ避け、外出時はマスクを着用しましょう！

マスクは自分自身の予防だけでなく、他の人への感染も防ぎます。



# おしらせ



## 4月以降の産婦人科診療について

病院だより創刊号、第2号にてお伝えしてまいりました、『富士市立中央病院産婦人科休止について』ですが、浜松医科大学から平成21年4月以降、医師を派遣していただけるとの約束をいただきました。

また、東京慈恵会医科大学から小児科医師の派遣も継続していただけることになり、従前どおりの地域周産期母子医療センターの存続が可能となりました。今後の診療体制については下記のとおりとなります。市民の皆さま、多くの関係者の方々には大変な心配をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

### 〈産婦人科〉今後の患者さまの受入について

【分娩予定日が平成21年3月以降の方】

受入を再開します。

【産科・婦人科系疾患の救急患者さま】

平成21年3月以降も受入を継続いたします。



【婦人科系の新規患者さま】

受入はかかりつけ医からのFAX予約のみといたします。なお、不妊症・婦人科悪性腫瘍の新規患者さまは、医師の交代による新体制が確立されるまで、原則として診察は再開いたしません。

【現在通院中の患者さま】

経過観察のみの方は、紹介状をお渡しし地域・近隣の診療所に受診することを勧めさせていただきます。

※総合相談センターにて産婦人科相談窓口を開設していますのでご利用ください。問い合わせ先は本誌6面をご覧ください。



## 神経内科が平成21年4月より『完全紹介制・完全予約制』になります。

現在、全国的に医師が不足しており、深刻な社会問題となっています。富士市立中央病院も、医師の確保に最大限努めてまいりましたが、一部診療科の医師不足は避けられず、従来の体制を維持できない状況となっております。平成

20年7月からの整形外科の外来受診制限に続き、神経内科についても平成21年4月から外来受診制限を行います。やむを得ずこのような対応を致しますことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 【初診について】

整形外科、神経内科を受診する際は、まず近隣の医療機関を受診していただき、その後、専門的な検査や入院治療を要する方は、紹介により富士市立中央病院を受診していただくことになります。

・紹介状をお持ちで、予約がある患者さまは、予約時間に診察します。

・紹介状をお持ちで、予約がない患者さまは、予約患者様の合間に診察します。

診療受付時間については、8:30～11:00です。

※整形外科外来につきましては、水曜日のみ8:30～10:00までとなります。

※神経内科外来につきましては、火曜日は休診となります。

・紹介状をお持ちでない患者さまは、受診をお断りします。

### 【再診について】

現在治療中の患者様の再診は、全て予約制となります。

・予約がある患者さまは、予約時間に診察します。

・予約がない患者さまは、原則として受診をお断りしますが、治療上緊急を要する場合のみ診察します。



## 富士医療シンポジウム開催

主催：富士市医師会・富士市立中央病院

●テーマ：「地域医療を守るために」～産科医療の現況～

●と き：平成21年3月4日(水) 19:00～21:00

●ところ：ロゼシアター 小ホール

※どなたでも参加できます。 入場無料



## お見舞いメールサービスの開始について



平成21年1月より患者さまへお見舞い・お祝いメールを送ることができるようになりました。

入院中のご家族に、ご友人に…お見舞い・お祝いメッセージを当院職員がお届けします。送信されたメールを専用

の台紙に印刷し、患者さまにお届けします。ホームページからのみのお申し込みとなりますので、詳細は富士市立中央病院ホームページをご覧ください。





## ～こんな相談を受付しています～ 総合相談センター

### 看護相談(がん相談含む)・よろず相談

入院・外来を問わず当院の患者さまとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをしています。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安、病院に対する意見・要望など専任の看護師がご相談に応じています。

相談室は、正面玄関入って右側、総合相談センター内にあります。

希望に応じて個室もご用意できます。

●利用時間 8:30～16:30 (土日・祝日は除く)

【お問い合わせ】 総合相談センター 内線2046

### その他の病院内の相談は…



●お薬相談 内線2126

月～金 8:30～17:00 お薬渡し口右横相談室

●栄養相談 ※予約制です。 内線2144

月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)

●検査に関する相談・血糖自己測定器の説明

内線2267

月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)

●糖尿病相談 生活指導・自己管理

内線2285 内科外来

第2火曜 13:00～15:00 看護面談室(1階)

### 各種教室のご紹介

患者さまとご家族を対象とした各種教室を開催しています。どなたでも無料で参加できますので、開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽に参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

●夜間糖尿病教室

日時:毎月第2火曜日 18時30分から20時00分まで

お問い合わせ:栄養科 内線2144

●腎臓病教室

日時:毎月第3火曜日 15時00分から16時00分まで

お問い合わせ:栄養科 内線2144

●ファミリークラス

日時:毎月1回第3月曜日 13時00分から16時00分まで

お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337

## 総合相談センター

内線2046

《受付時間および相談時間》

月曜日～金曜日 8時30分～16時30分

場所:1階正面玄関入って、すぐ右手です。



## 富士市立中央病院

～平成20年度病院指針～

「心で築く地域医療:絆でつなぐ病診連携」

〒417-8567

住所:静岡県富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

